



Drax - 欧州の主要電力会社 (エネルギーとユーティリティ関連会社)



課題

- ・複雑で高度な脅威に直面している状況
- ・高度なサイバー攻撃の対象産業
- ・データの多くが明瞭でない
- ・多くの誤検知
- ・内部関係者の脅威に関する問題
- ・受け身的で未然防止策がない

導入後の結果

- ・自己学習アプローチ
- ・リスクの確率評価
- ・人間行動の理解
- ・新しい脅威を次世代方式で検出
- ・企業リスクのリアルタイム可視化
- ・外部と内部脅威の両方に対応

事業背景

Draxは、ヨーロッパの電力の8%を供給する大手電力会社です。バイオマス発電へ切り替えるプロセスを行っており、エネルギーおよびユーティリティ業界で最も未来志向の会社のひとつとされています。

課題

エネルギー部門は、急速に進化する脅威に直面しております。ますます洗練された攻撃者はネットワーク境界を測定して、非常に機密性の高い運用システムへの潜入に成功しています。このフィールドにおけるサイバー脅威は、国の重要インフラの安全性と整合性に重大な意味を持っているため賭ける金額が大きくなっています。攻撃者が持つ動機範囲を考えると、次第に迫り来る新しい攻撃にいる内部脅威の危険を先取りすることは極めて困難になっており、未然に防ぐ方法が求められています。

Darktraceは、新たな脅威を識別でき、新進気鋭の攻撃を先に取得して重要なデータとシステムを適切に保護するために早期介入します。

ソリューション

Draxは、「免疫システム」アプローチを採用することにしました。なぜならば、以前他のセキュリティ・ツールによって認識されなかった新たな脅威に対応できるようにするためです。Darktrace Cyber Intelligence Platform (DCIP)を選択し、Enterprise Immune System(エンタープライズ免疫システム)は、脅威を識別するのに、事前に知識を必要としない自己学習システムで、データシステム内の正常と異常状態を理解するために動作します。必要に応じて潜在する危険な状況に早期介入できる様にするには、常にリアルタイムで急速に進化する情報環境に適応するための能力がDraxには重要でした。ケンブリッジ大学で開発されたベイズ確率数学に基づいたDCIPは、ユーザ、デバイスおよびネットワークの正常な動作を学習して、異常な動作が発生したら検出してすぐに判る様にするために、社内のシステムに配備しました。

同社は、その内部ネットワーク全体概要を視覚的に任意の時点での脅威のレベルを3Dでグラフィカルに表現するDarktraceの最先端脅威ビジュアライザを使用して、動的な調査と潜在的な問題の発見を容易にしています。

利益

Darktraceは、独自の確率論アプローチで重大な損害を引き起こす可能性を持つ新たな脅威を検出する能力により、Draxのサイバーセキュリティ戦略の基本的な部分となっています。同社は、既に他社のセキュリティ・ツールをバイパスしておりますが、Enterprise免疫システムの展開で、システム内の潜在的な侵入の警告をすぐ得られました。

導入後は、Darktraceを使用して継続的にシステム全体の健康状態を分析して、悪質な危険また順守しない可能性の高い不規則な活動を発見するようにしています。

Draxのメリットは、現在利用可能な最先端のサイバー防御技術で、組織の内部または外部からの判らない攻撃の脅威から、自社の重要なインフラシステムを保護できることです。

「Darktraceで、私たちの防御システムに洗練された別のレベルが追加でき、私たちのネットワークを破壊する可能性のある脅威を既に特定しています。それは、私たちが新たな脅威の先を行くことができ、当社の主要システムをより良く防御できています。」

Drax社 セキュリティ部門のリーダー

Darktraceについて

世界経済フォーラムにて“テクノロジー・パイオニア”に選出されたDarktraceは、世界をリードするサイバー防御企業のひとつです。DarktraceのEnterprise Immune System技術は、ケンブリッジ大学で開発された機械学習と数学理論をベースに、組織内のあらゆるデバイス、ユーザおよびネットワークの動作を分析し、これまでに特定されていない脅威をリアルタイムに検出します。エネルギーおよび公益事業、金融サービス、ヘルスケア、電気通信、製造、小売り、輸送を含む産業分野の世界的大手企業がDarktraceの自己学習型アプライアンスを使用しています。Darktraceは最先端の機械学習の専門家と政府のインテリジェンス エキスパートにより2013年に設立され、本社は英国ケンブリッジと米国サンフランシスコにあり、オークランド、ボストン、シカゴ、ダラス、ロンドン、ロサンゼルス、ミラノ、ムンバイ、ニューヨーク、パリ、ソウル、シンガポール、シドニー、東京、トロントおよびワシントンDCに事務所を置いています。



株式会社ピーエスアイ

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル4F

TEL: 03-3357-9980 FAX: 03-530-4488

大阪営業所

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-21-13 新大阪日新ビル4F

TEL: 06-4805-9601 FAX: 06-4805-9610

問い合わせ先: